

# はすだね通信 第43号

みんなで進めよう  
茨城農業改革

土浦地域農業改良普及センター

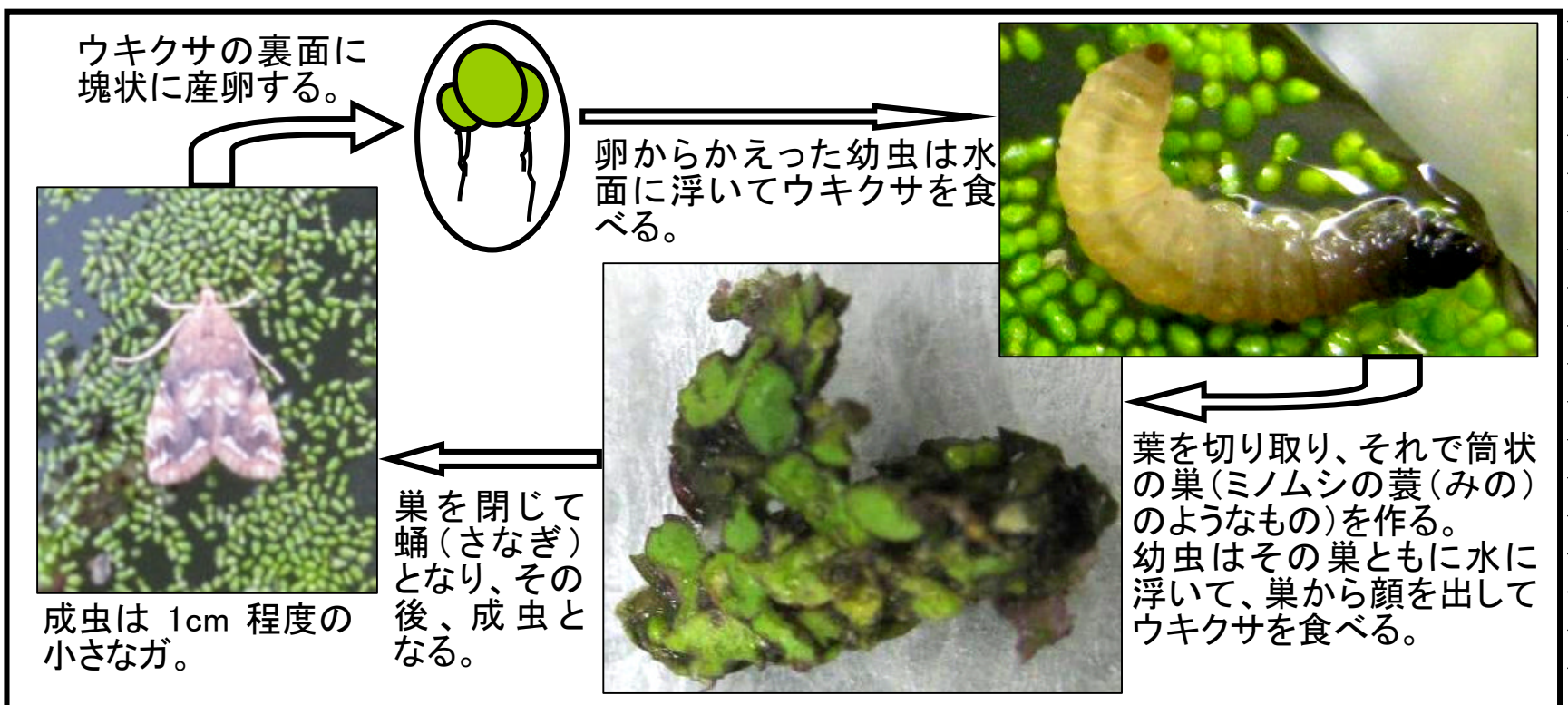
平成23年10月19日発行

## ウキクサを食べる虫について

霞ヶ浦周辺のレンコン田で発生するウキクサは、主にシダ類のオオアカウキクサと種子植物のコウキクサに分類されます。ウキクサを食べる生物はいくつか知られていますが、霞ヶ浦周辺ではヒメマダラミズメイガという虫が目撃され、中には水田のウキクサがほとんど食べ尽くされた事例もあります。

### ヒメマダラミズメイガについて

ヒメマダラミズメイガは、日本全国で普通に見られます。生活サイクルは以下の通りです。



### ヒメマダラミズメイガの生態について

京都府立大では、過去にウキクサの防除にこの虫を利用できないかどうかを研究していました。残念ながら、研究期間が短かったためにその可能性を最後まで追求できませんでしたが、その実験により、以下のようなこと等が明らかとなっています。

- (1) ヒメマダラミズメイガはハスをえさとして与えた場合は発育しない。
- (2) ウキクサ(≒コウキクサ?)よりもアカウキクサのほうが食べる量が多い。
- (3) 京都では、成虫の発生は年間4回ほどで、巣をまとった幼虫で越冬する。越冬した幼虫は2月中旬から活動を始め、5月初旬に最初の成虫となる。
- (4) 25℃前後で最も発育しやすい。

### 最後に…

ウキクサの発生が問題となる春先～初夏に、この虫を大量に発生させてウキクサを食べる状況を作れば防除に利用できる可能性も考えられます。しかし現在では、春先～初夏にこの虫を利用する技術はありません。虫を増やすには、農薬等の使い方に注意して保護することが一つの方法ですが、それだけでは不十分なので、さらに検討が必要です。今後、普及センターでは様々な情報を収集できればと考えています。生産者の皆様もこの虫に注目してみてください。

環境にやさしい農業のため、水かけ流しはやめましょう!!!